

「生物多様性の主流化」に向けた CEPA(広報・教育・普及啓発)の強化

〒101-0041
東京都千代田区神田須田町2-2-5
CTNビル3F EFF内
電話:03-5256-6770
E-mail:info@cepajapan.org
http://cepajapan.org/



ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



南欧熊捕事例集作成に向けた会議

日本固有の生態系活用に向けた事例	2件
海洋保全の優良事例	16件
今年度計画の達成度	90%
活動の全体目標に対する達成度	60%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

スタッフのリソース不足により地域との調整が十分に進まず、会合やヒアリングの設定に苦労した。一部は実施できなかった。

■ 工夫した点

地域での取り組みにおいて行政・地域住民・関係者との連携をさらに強化し、企画やツールの立案・作成・実施において協働した。

課題

愛知目標1達成のため、関係者と協働し、「容易な言葉」で「優良事例をツール化」して展開し、「日常の行動で恒に生物多様性に配慮」できるための行動変容を促す。

目標

地域CEPA(広報・教育・普及啓発)拠点設立とCEPAツール活用。生物多様性と共生する回復能力の高い地域づくり策立案。生物多様性配慮商品の市民認知率16%超。

活動内容と成果

①日本固有の生態系の研究を活かした生物多様性の主流化の加速、②生物多様性と共生するレジリエンスの高い地域づくりの拡大、③生物多様性に配慮した購買行動の促進、に向けて計画した活動をほぼ実施できた。●地域

CEPA拠点の立上げに向け地元・関係者との関係を強化。CEPAさんぽツールとして事例集を作成し10か所で配布。●第4回国際海洋保護区会議に参加。●生物多様性保全の優良事例を19件収集。●生物多様性に配慮した商品27事例をWeb公開。●CEPAさんぽトライアル/下見を13か所で実施。



第4回国際海洋保護区会議に参加

今後の展望

地域CEPA拠点の企画・実施、事例集を活用したシンポジウムの企画・実施、各種ツールの活用展開、地域優良事例収集の加速、市民認証コンテンツのWeb公開・新規収集の拡充などを進める。